

今回は…【平安宮の今昔】に関する図書をご紹介します

へいあんきゆう  
【平安宮】とは… 平安京の宮城。京の北部中央に位置し、東西約一・二キロメートル、南北約一・四キロメートル。南部中央に朝堂院、その北東に内裏があり、それらを囲んで諸司の庁舎が並ぶ。『日本国語大辞典』第11巻(小学館)p1166“平安宮”の項より

◆『京都時代 MAP 平安京編』（新創社／編 光村推古書院）

請求記号 L/216. 2/キ

平安時代の地図の上に、半透明に印刷された現代の地図を重ねて見ることで本です。源氏物語や院政期の歴史について、イラストが豊富な分かりやすい解説もあります。



◆『京都の大路小路 ビジュアル・ワイド』（小学館）

請求記号 L/291. 62/キ

京都の“路”（通り）が詳細にまとめられた本です。見開き1ページにつき1つの通りを取り上げ、地図と歴史が詳しく解説されています。通り名から調べられる索引付き。

◆『平安京図会』（京都市生涯学習振興財団）

請求記号 L/291. 62/へ

60×42cmの大きい現代の地図に、平安宮の史跡が載っています。

史跡についての説明板や石碑の設置場所が分かるので、この地図を見て散策もおすすめ。



◆『今昔地図でたどる京都大路散歩』（原島 広至／著 学芸出版社）

請求記号 L/291. 62/ハ

今昔の地図がカラーイラストで分かりやすく掲載されています。町名や人物名にはフリガナが付いており、土地にまつわる読み物もあるため、入門書としても、うってつけです。

このほかにも、関連する図書を所蔵しています。  
京都コーナーには【平安京関連図書コーナー】もあります。  
貸出・閲覧や、調べもののおてつだいをご希望のかたは、  
**中央図書館 2階・参考図書室へおこしください。**

